

## 2024年度第5回京都競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ りんどう賞

りんどうは、リンドウ科の多年草。日本全土に分布し、秋に青紫色の鐘状の花を数個開花させる。根は苦みが強く、竜胆（りゅうたん）の名で健胃薬として用いられる。花言葉は「正義」「誠実」。

#### ○ 大山崎ステークス

大山崎（おおやまざき）は、京都盆地の南西端にある京都府乙訓郡の町。淀川水系の桂川・宇治川・木津川が合流する地域にあり、名神高速道路や東海道新幹線が通っていることから、治水上、交通上重要な役割を担っている。

#### ○ 夕刊フジ杯オパールステークス（L）

オパール（Opal）は、真珠のような光沢をもつ半透明の鉱物で10月の誕生石。

夕刊フジは、産業経済新聞社より発行されている夕刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### <第2日>

#### ○ 長岡京ステークス

長岡京（ながおかきょう）は、京都府南西に位置する市。真言宗の乙訓寺、菅原道真を祀る長岡天満宮、西山浄土宗総本山の光明寺がある。名は、784年に桓武天皇が造営した長岡京に由来する。

#### ○ 藤森ステークス

藤森（ふじのもり）は、京都市伏見区にある神社。本殿は、室町時代の一間社流造りで国の重要文化財に指定されている。5月上旬に催される藤森祭では、勇ましい武者行列が町内を巡り、表参道では駟馬（かけうま）神事が行われる。

#### ○ JRA70周年記念 農林水産省賞典京都大賞典（GⅡ）

本競走は、1966年に『ハリウッドターフクラブ賞』の名称で創設された重賞競走。本年は、JRA設立70周年を記念して実施される。創設時は3200mだったが、翌年2400mに短縮され、1974年に現在の競走名に改称された。なお、第1着馬には同年の『天皇賞（秋）』への優先出走権が与えられる。

### <第3日>

#### ○ 紫菊賞

紫菊（しぎく）は、紫色の花をつける菊の総称。菊は、食用としても古くから親しまれ、お浸し・酢の物・天ぷら・吸い物など様々な料理に用いられる。中でも赤紫色系統の菊は、栄養価の高さから延命薬とも呼ばれている。

#### ○ 大原ステーキス

大原（おおはら）は、京都市左京区の地名。比叡山の北西麓に位置し、寂光院・来迎院・三千院などの古刹のほか、後鳥羽天皇の陵や惟喬（これたか）親王の墓がある。

#### ○ 大阪スポーツ杯

大阪スポーツは、東京スポーツ新聞社の関西支社が発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### <第4日>

#### ○ もみじステーキス

もみじは、晩秋に木の葉の色が変化する現象。また、カエデ科の数種を指す総称。日本列島には秋に紅葉する植物が非常に多く自生しており、その数は 100 種類以上と言われている。

#### ○ JRAウルトラプレミアム アカイトリノムスメカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『秋華賞』の歴代優勝馬の中から選ばれたアカイトリノムスメ号の名を冠した競走。

アカイトリノムスメ号は、2021年（第26回）の『秋華賞』優勝馬。同レースでは、断然の人気に支持された桜花賞馬ソダシ号に勝利し、G I初勝利を達成した。2010年の牝馬三冠馬である母アパパネ号に続く勝利となり、いずれも史上初となる『秋華賞』母娘制覇、牝馬三冠馬の子としてのG I勝利を達成した。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

## ○ 秋華賞（G I）

本競走は、1996年に創設された3歳牝馬限定の重賞競走。1995年まで『桜花賞』『優駿牝馬（オークス）』に続く牝馬三冠最後の競走は『エリザベス女王杯』であったが、同競走の出走馬資格が3歳以上牝馬となったことに伴い、新たに三冠を締めくくる競走として本競走が設けられた。

秋華（しゅうか）は、中国の詩人である杜甫や張衡が文字通り「あきのはな」として詩中で用いた言葉。「秋」は大きな実りを表し、「華」には名誉・盛り・容姿が美しいという意味が込められている。

## ○ 亀岡特別

亀岡（かめおか）は、京都市の西方に位置する市。京都府下最大の農地があり、豊潤な水脈を有し、平安京に都が置かれる以前の奈良時代から豊穡の地として栄えていた。亀岡から嵐山までの溪谷を舟で下る保津川下りや静かな山あいにある湯の花温泉には、毎年多くの観光客が訪れている。

## <第5日>

### ○ 北國新聞杯

北國新聞は、石川県金沢市に本社を置く北國新聞社より発行されている日刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### ○ 宝ヶ池特別

宝ヶ池（たからがいけ）は、京都市左京区にある池。池の周辺は宝が池公園として整備されている。園内には野鳥の森や菖蒲園などがあり、四季折々の美しい自然を楽しむことができる。

### ○ オータムリーフステーキス

オートムリーフ（Autumn Leaf）は、紅葉を意味する英語。

京都には紅葉の名所が多く、京阪電鉄沿線には「通天紅葉」で有名な東福寺や宇治の三室戸寺、長岡京市の粟生光明寺などがある。

## <第6日>

### ○ なでしこ賞

なでしこは、ナデシコ科ナデシコ属の多年草の総称。ナデシコ属の植物は世界各国に分布しており、日本原産の種も存在する。夏から秋にかけて桃色の花を咲かせる。秋の七草のひとつで、ヤマトナデシコ、カワラナデシコなどの別名がある。花言葉は「純愛」「大胆」。

## ○ 清滝特別

清滝（きよたき）は、京都市右京区の地名。保津川支流の清滝川が流れ、夏は京都で数少ない納涼避暑地となる。国の天然記念物であるゲンジボタルの生息地としても知られている。

## ○ JRAウルトラプレミアム キセキカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『菊花賞』の歴代優勝馬の中から選ばれたキセキ号の名を冠した競走。

キセキ号は、2017年（第78回）の『菊花賞』優勝馬。同レースでは、不良馬場の中、2着に2馬身差をつけ優勝。重賞初勝利と同時にG I初挑戦初制覇を達成した。その後は勝ち星にこそ恵まれなかったものの、2018年『ジャパンカップ』での2着など、G Iで4度連対した他、『凱旋門賞（仏G 1）』を含む海外競走にも4度出走するなど、国内外を問わず活躍をみせた。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

## ○ 菊花賞（G I）

本競走は、イギリスの『セントレジャー』に範をとり、1938年に『京都農林省賞典四歳呼馬競走』として創設された重賞競走。1948年より現在の名称となった。『皐月賞』、『東京優駿（日本ダービー）』に続く3歳クラシック三冠の最終関門。本競走は、「最も強い馬が勝つ」と言われており、3000mの距離を乗り切るスピードとスタミナを兼ね備えた馬に栄冠が輝く。

菊花（きくか）は、菊の花の意。菊は、キク科キク属の多年草で、世界中に1万種以上あると言われている。色や形は種類によって多岐にわたり、観賞用だけでなく食用としても用いられる。花言葉は「高貴」「高尚」。

## ○ 桂川ステークス

桂川（かつらがわ）は、京都市西部を流れる川。丹波山地の東端を水源とし、亀岡盆地・保津峡・京都盆地を経て、大山崎付近で宇治川・木津川と合流し、淀川となって大阪湾に注ぐ。周辺には、松尾大社や桂離宮など名所旧跡も多い。

## <第7日>

## ○ 萩ステークス（L）

萩（はぎ）は、マメ科ハギ属の落葉低木の総称。葉は3枚の小葉からなる複葉で楕円形。秋の七草のひとつで、紅紫色の蝶形花を対生状につける。花言葉は「想い」「思案」。

## ○ ハロウィンステークス

ハロウィン (Halloween) は、毎年10月31日に行われる祭りのこと。もともとは秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す宗教的な行事であった。現在では、仮装をしたり子供たちがお菓子をもらったりするなど、世界各地において様々な形で民間行事として定着している。

## ○ MBS賞スワンステークス (G II)

本競走は、1958年に創設された重賞競走。創設当初は春季に1800mのハンデキャップ戦として実施されていたが、1961年より別定重量戦に変更され、さらに幾度かの変更を経た後、1984年から秋季の1400mで実施されている。なお、第1着馬には同年の『マイルチャンピオンシップ』への優先出走権が与えられる。

MBSは、大阪市に本社を置く放送局。1951年開局でJRN、NRN系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第8日>

### ○ 北野特別

北野(きたの)は、京都市上京区の地名。学問の神様として信仰を集める菅原道真を祀る北野天満宮があり、受験シーズンには多くの合格祈願者が訪れる。毎月25日に縁日が開かれ、1月の初天神、12月の終い天神は特に多くの参拝者で賑わう。また、梅の名所としても知られ、菅原道真の命日である2月25日には梅花祭が開かれる。

### ○ 古都ステークス

古都(こと)は、古い都・旧都という意味。京都は、794年の平安遷都から、1869年の東京遷都まで1000年以上にわたって日本の首都であった。かつての皇居、京都御所が京都市中心部にあり、その広大な敷地は京都御苑と呼ばれ市民の憩いの場となっている。

### ○ カシオペアステークス (L)

カシオペア (Cassiopeia) は、北の空に見られる星座。北斗七星とともに北極星を探す指標となる星座として知られている。星座の形がM型やW型に見えることから「山形星」「錨星」とも呼ばれる。名は、ギリシャ神話に登場する古代エチオピア王妃のカシオペアに由来する。